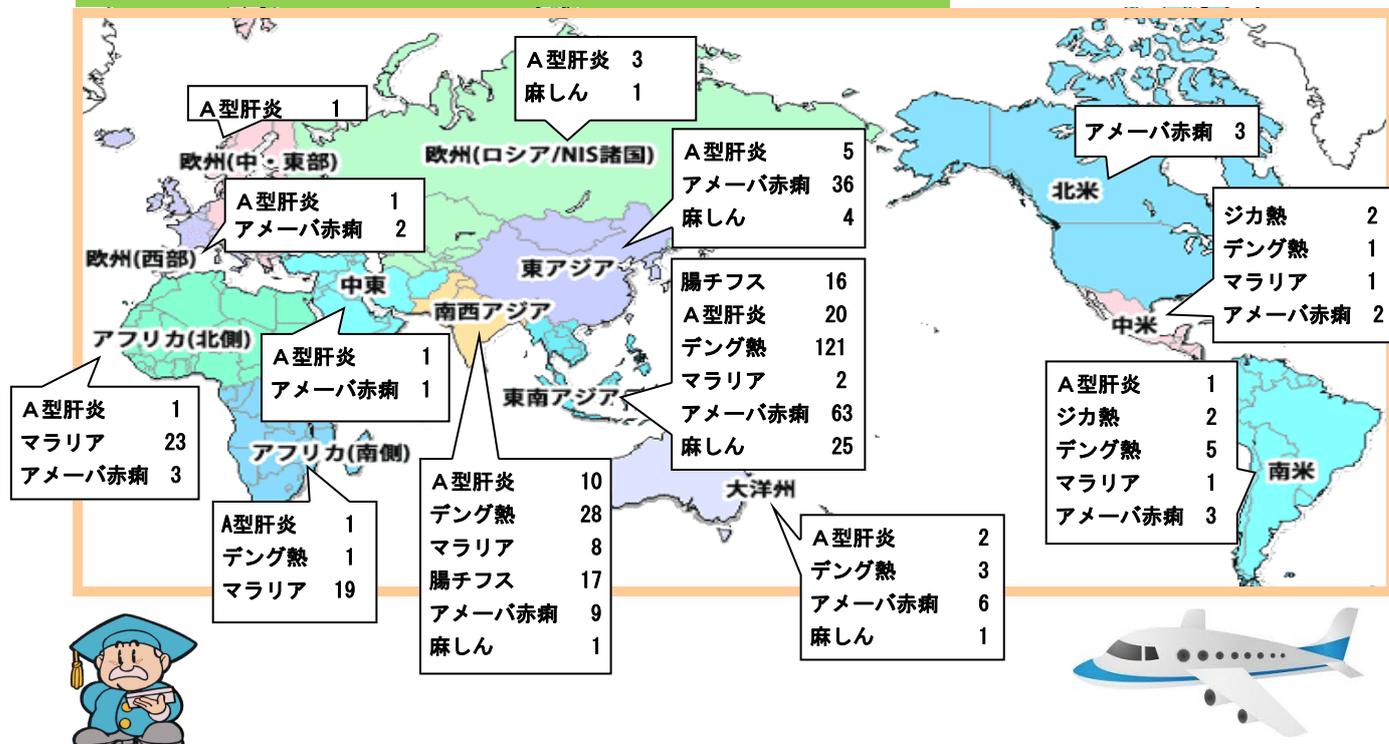


海外で注意すべき感染症

国際化に伴い、海外で感染して日本で発症する、いわゆる輸入感染症の報告が増加しています。神奈川県内の輸入感染症の状況と、海外における感染症対策について説明します。

神奈川県における過去10年間の主な輸入感染症の感染地域別報告数 (2007年～2016年の報告より)



海外に行く前に気を付けたいこと

- ① 現地の感染症情報を調べる。
(検疫所 (FORTH) や外務省のホームページなど)
- ② 必要な予防接種を受ける。
(検疫所や最寄のトラベルクリニックなど)

予防接種が有効な病気：

A型肝炎、B型肝炎、破傷風、麻しん、日本脳炎、狂犬病、黄熱、ポリオ、髄膜炎菌、ジフテリア、コレラ、腸チフスなど



- ③ 旅行保険に加入する。
- ④ 現地で必要となる携行品を準備する。

蚊の対策、必要な医薬品など



現地で気を付けたいこと

◎ 蚊・ダニの対策

(マラリア、デング熱、ジカ熱などの流行地域)

蚊・ダニに刺されないように肌の露出を避け、虫よけ剤を適切に使いましょう。蚊には、蚊取り線香・蚊帳も有効です。



◎ 食事の注意 (腸チフス、アメーバ赤痢などの流行地域)

食事前に手を洗いましょう。十分に加熱されたものを食べ、生水・氷・カットフルーツの入ったものは避けましょう。

◎ 日本では見られない狂犬病に注意

むやみに動物に触らないようにしましょう。イヌ、キツネ、アライグマ、コウモリ、その他の野生動物に噛まれたら、すぐに受診して狂犬病ワクチンの曝露後接種を受けましょう。

海外の医療情報はここから！
厚生労働省検疫所ホームページ (FORTH)



神奈川県衛生研究所 企画情報部 衛生情報課

神奈川県茅ヶ崎市下町屋1丁目3番1号

電話：0467-83-4400 Fax：0467-89-5211

<http://www.eiken.pref.kanagawa.jp>

